

# Close up だて



## チームの主力として優勝に貢献 一 埼玉栄高校、 女子硬式野球で日本一

しまななか 島菜々花さん  
 (末永町)

7月25日(土)30日に兵庫県で開催された第19回全国高校女子硬式野球選手権大会。「女子野球の甲子園」と呼ばれるこの大会で、見事優勝に輝いたのが女子硬式野球の名門校、埼玉栄高校(埼玉県)です。

2年生ながらこのチームの4番レフトとして全試合に出場し、優勝に貢献した島菜々花さんは「3年生と一緒に出場できる最後の大会だったので、優勝できてうれしかった」と爽やかな笑顔が印象的。野球との付き合いは年少の頃からです。当時通っていた空手道場の友達が「伊達パンダース」で楽しそうにプレーしていたことがきっかけで始めた野球にすっかりハマり、中学校でも野球部に入部。男子生徒に交じりながら練習をする。とともに、苫小牧市の女子軟式野球チーム「苫小牧ガイラルディ

ア」で熱心に腕を磨き続けました。中学生が平日は部活、週末は一人で苫小牧に通ってまで野球をするその原動力は「好き」だから。その情熱には驚きです。そしてさらに高いレベルの野球を求めて、埼玉栄高校への野球留学を決意。練習は毎日で、多いときには約6時間にも及ぶそう。それでも「練習量は多いけど辛いとは感じない。むしろ楽しい」と話す島さん。

「女子プロ野球選手を目指し、さらに練習に取り組んでいきたい」と力強く話してくれました。今や野球をする女の子も増え、開拓者でもある島さんは「何でも楽しむことが大切。壁にぶつかっても逃げないで立ち向かってほしい」と後輩へメッセージも。

伊達市出身のプロ野球選手の誕生に期待が高まります。



豪快なスイングでヒットを量産



表彰式でメダルを受け取る島さん(右から3人目)

### 表紙のはなし

伊達市の夏の一大イベント「伊達武者まつり」を盛り上げてくれたよさこいチーム。その中に小さな踊り子を見つけました。夏のキラキラとした太陽の下、特設ステージを背に大人顔負けの踊りを披露。一生懸命踊る姿が可愛らしく、来場者は盛んに拍手を送っていました。



### 楽 画 記

■この号が皆さんに届くころには、朝晩の肌寒さを感じ夏の暑さが懐かしくなっているころでしょうか。私はこのちょっと肌寒いくらいの時期が好きです。本を読むも良く、ちょっとした運動をしても爽やか。何よりも食べ物が美味しい！今年も食欲の秋で終わってしまわないように、今から戒めが必要です。(と)

■今年の武者まつりも暑い2日間でした。昨年、日焼けで痛い目をみた私ですが、今年は警戒しつつも特に対策はせずに取材に挑みました。結果的には「痛い」と感じるほどの日焼けはなく一安心。しかし、腕や足にはドクガとも違う謎の湿疹が…。昨年は「痛み」、今年は「かゆみ」との戦い。はたして来年は？(笑)(た)

■私が広報紙作りを手伝い始めてから早や6年が過ぎ、今月から7年目に入りました。「7」という数字には良いイメージがあるので何かいい事が起こるのでは!とちょっと期待。情報ツールは年々進化していますが、昔ながらの「紙をめくって文字を読む」を大事に、今後も広報紙に携わっていただけたらと思います。(や)